

証号第92号甲

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区千代田二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

貸ビル・リース事業・保険代理業

雨宮商事株式会社

新宿 西口
141 雨宮ビル
☎03-3342-0141

読者とともに

紙面へのご意見
お問い合わせは

TEL 03-6910-2201
土日祝日除く9:30~17:30

FAX 03-3595-6935

TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

深井隆

物語の庭

好評開催中
6月28日まで

板橋区立美術館

原発災害 3密対策棚上げ

屋内避難 被ばく防止と両立困難

原発事故の際の避難計画や防護措置に新型コロナウイルスの「3密」対策が十分盛り込まれていないことが明らかになった。原子力防災担当の内閣府は「放射能防護と感染防止の両立を」と通知したが、具体的な示さず、原発立地自治体の対策も実質的に空白の状態。放射能対策と感染防止を両立する手段は見いだせていない。ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏(名古屋大学特別教授)が共同代表幹事を務める日本科学者会議は「コロナ収束まで運転停止を」との声明を出している。

—(石川智規)

—原発リスク高まる②面

重大な原発事故の際に発生する 新型コロナ感染対策とのジレンマ

現状	問題
<p>避難計画</p> <p>原発から半径5~30km圏内は屋内退避か避難</p> <p>原発から半径約5kmの地域は、バスなどで30km圏外の避難所へ</p>	<p>国は「屋内退避の間は原則換気を行わない」と通知。密閉空間で感染拡大の心配</p> <p>バス車内の3密対策。席の間隔を空ける分、バスの台数が増やせるか</p>
<p>災害対応</p> <p>オフサイトセンターに原子力防災専門家が結集、災害対応</p> <p>センサーに原子力自治体関係者が結集、災害対応</p>	<p>密閉性を高めた施設内で感染拡大すれば事故対応に支障も</p>

新型コロナ

「収束まで運転停止を」

新型コロナ感染拡大下の原発のリスクに関しては日本科学者会議が四月下旬、「新型コロナ感染拡大中の今、原発の即時運転停止を求める」と題した声明を発表した。

声明は「原子力施設がひとたび事故を起こせば放射性物質防護のために屋内退避が不可欠で『密室』をつくらねばならない。新型コロナ対応とは相反する条件となる」と指摘。「避難場所自体で感染爆発、修繕場となりかねない」と警告した。事故対応や日常の運行管理でも閉鎖空

原発が重大事故を起こし放射性物質が放出された場合、原子力災害対策特別措置法にもとづき、原発から半径約5km圏内の住民は即時避難が求められ、30km圏内の近隣住民は屋内退避や避難が指示される。自家用車で避難できない住民は

県や市町村が手配するバスで集団避難する。関係者が特に頭を悩ますのは屋内退避のルールだ。内閣府は六月上旬に自治体に通知した「感染症流行下での防護措置の基本的な考え方」で、屋内退避の場合「被ばく回避を優先する」と明記。「原則換気を行わない」とした。

だが、換気しなければ三密状態になる。学校の授業中などに事故が起きた場

日本科学者会議が声明

間で働く要員に感染者が発生すれば「勤務体制がたちどころに崩壊し緊急対応体制や安全運転体制の崩壊につながるかねない」としてリスク管理策は不可欠と主張。「稼働中の原発の運転停止を求める」とした。

同会議は自然科学などの研究者らで構成する総合学術団体。共同代表幹事は、名古屋大素粒子宇宙起源研究所の益川敏英名譽所長(同大特別教授)と、昭和女子大の伊藤セツ名誉教授の二人。

合、大勢の人が密閉空間での屋内退避となり、コロナ感染拡大の懸念が高まる。現在国内では九州電力と関西電力の三原五基が稼働する。九電の玄海原発を抱える佐賀県玄海町役場の担当者は「放射能対策と換気の兼ね合いは困難」と苦渋を隠さない。

バスによる避難でも、内閣府指針は「一人との距離の確保やマスク着用、手指衛生」などを求めながら、座席間隔や消毒手法などは自治体任せだ。稼働中の関電の高浜、大飯原発がある福井県の担当者は「手探りの部分が多い」と悩み、具体策は示せていない。佐賀県

もバス事業者などを含めた検討会を開く予定は「まだない」(担当者)という。一方、事故の際は緊急事態対策の拠点となる「オフサイトセンター」に国の原子力防災専門官や自衛隊、警察らが詰め、緊急対応に当たる決まり。放射性物質を防ぐため、ドアなどの密閉性を特に高めた「三密」状態の施設だ。

内閣府は「手洗いや離れて座るなどの対策は取る

国内感染者数

自宅労働時間認めて

5月の訪日客99%減

地域の状況

都内感染16人増

住民登録前提変えず

が、まず原子力事故の収束に全力を尽くすのが大事」として、施設の運用指針をコロナ向けに改正する考えは「ない」という。だが、東京電力福島第一原発事故のように事態收拾が難航し対応が長引けば、施設内で感染が拡大、事故対応自体が難航する可能性もある。

米ゼネラル・エレクトリック社出身の原子力コンサルタントの佐藤氏は「本来両立が難しい三密対策と放射能防護策を自治体任せにし、具体策を講じない国の姿勢は問題」と批判。

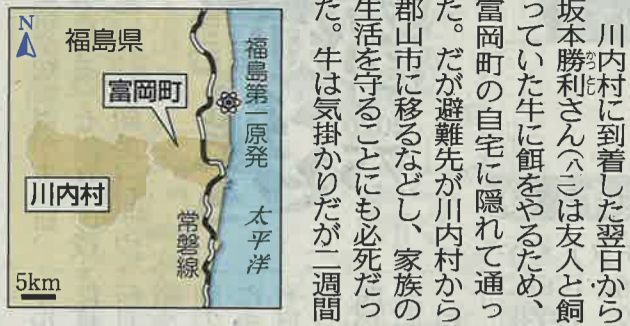
「新型コロナで原発の運転リスクは高まっている」と警鐘を鳴らす。



「国会止めるな! 議論をしろ! 責任を取れ!」

本社の新聞編集は、すべて再生可能エネルギーの電力で賄われています。

牛に 罪があるのか



川内村に到着した翌日から、坂本勝利さん(左)は友人と飼っていた牛に餌をやるため、富岡町の自宅に隠れて通った。だが避難先が川内村から郡山市に移るなどし、家族の生活を守ることも必死だった。牛は気掛かりだが「一週間

ほど富岡町に戻れなかった。そして、ようやく時間をたっぷりと覚えているという。農園の入り口で車を止め、牛舎まで足は重かった。二週間も飲まず食わずの牛が生きているはずがないと思っただけ、何か黒いものが動いているのが見えた。

生き抜いていた23頭



原発事故後も坂本勝利さんは牛の世話のため通い続けた。福島県富岡町で(坂本さん提供)

「体を感じてくれ」といって「あわてて駆け寄ると、綱につながれた牛たちが一斉に鳴いた。二十三頭すべてがやせ衰えながらも命をつないでいた。「悪かった」「すまなか

った」と涙を流しながら牛たちをやり、わら切れを食べさせた。牛は角を坂本さんの背中や尻にすりつけるようにして甘えたという。

「今日が最後で、次はいつ来られるかわからない。自力で生きてくれ。そんな気持ちでした」。同じように牛を放った畜産家は大勢いた。しかし、野良牛が民家に入り込んで荒らすなどの事態を問題視した国は五月十二日、被災自治体に牛を殺処分するよう指示を出した。福島県畜産課によると、こうして命を落とした牛は千七百頭に達した。

ご意見はfukushima10@tokyo-np.co.jpへ

3密対策なき避難計画 原発リスク高まる

【解説】 原発事故の際には放射能被ばくを回避するための屋内退避が必須となる。放射能を入れない密閉空間の確保が求められるが、新型コロナウイルスの感染対策では密閉は禁物。シレンマを解く答えは見つからない。新型コロナウイルスがもたらす新たな日常は、原発の稼働リスクを一段と高めたといえる。

千人が携わる安全対策工事の八割が一週間止まった。炉心溶融(メルトダウン)など重大な原発事故で、対応要員に感染が広がり、収拾が遅れば、地域ばかりか全国や海外までダメージを与えかねない。東電福島第一原発事故で原発の信頼性が揺らぎ、建設費と管理費が、はね上がった。新型コロナウイルス感染拡大は原発の危険性を一段と増幅させる。原発再稼働を急ぐ安倍政権のエネルギー政策の正当性はさらに揺らいでいる。(石川智規)

大学共通テスト延期せず

協議会了承 学習遅れ 追試可能

文部科学省は十七日、来年初めて行われる大学入学共通テストを予定通り一月十六、十七両日に実施する案が、高校、大学関係者らによる協議会でおおむね了承されたと発表した。本試

験の二週間後に追試を行う、新型コロナウイルスによる長期休校で学習が遅れた生徒も受験できるようにする。追試験会場も大幅に増やし、四十七都道府県に設ける。

文科省は今月中に、日程などを含む大学入学者選抜実施要項を公表する。総合型選抜(旧AO入試)の出願開始は九月一日から二週間繰り下げる。学校推薦型選抜(旧推薦入試)の出願は

予定通り十一月一日から。共通テスト後に各大学が行う試験日程も変更しない。大学の個別試験の出題範囲については、文科省は各大学に対し、高三で履修することの多い科目の選択問題を設定し、「発展的な学習内容」から出題しないなどの工夫を強く求めた。

文科省は「私立高の意向が十分に反映されていない」として受け取りを拒んでいた。一方、多くの大学は予定通りの実施を求めている。(土門哲雄)

※17日現在、()内は死者数。各国や米ジョンズホプキンス大の集計による

米国	213万7716人 (1万6962人)
ブラジル	92万3189人 (4万5241人)
ロシア	55万3301人 (7478人)
インド	35万4065人 (1万1903人)
英国	29万8136人 (4万1969人)
スペイン	24万4328人 (2万7136人)
イタリア	23万7500人 (3万4405人)
パル	23万7156人 (7056人)
イラン	19万5051人 (9185人)
ドイツ	18万6881人 (8818人)
世界全体	819万1391人 (44万4076人)

北海道	1167 (+6)	92	8	36
青森	27	1	1	5
岩手	88	1	7	28
宮城	15		1	82
秋田	69		1	74
山形	81		34	825 (+3)
福島	168	10	1	45
茨城	66		18	17
栃木	151	19	86	47
群馬	1019 (+1)	52	43	60
埼玉県	917 (+1)	45	2	17
千葉県	5633 (+16)	317	3	11
東京都	1416 (+7)	93	3	142
神奈川県	82	22		276 (+3)
新潟県	227	27		149
富山県	299		3	14
石川県				
福井県				
山梨県				
長野県				
岐阜県				
静岡県				
愛知県				
三重県				
滋賀県				
京都府				
大阪府				
兵庫県				
奈良県				
和歌山県				
徳島県				
香川県				
愛媛県				
高知県				
福岡県				
佐賀県				
長門県				
熊本県				
大分県				
鹿児島県				
沖縄県				

ダイヤモンド・プリンセス号の乗船者	712人 13
退院・療養解除	1万6505人(+149) [17日午前0時現在]
計	1万8349人(+46)
死者	952人(+1)